

竹島に尖閣諸島、今年
は日中国交正常化40周年
であるが、近隣国との、

室長 かの 署 空の北の名 下

22

名古屋北労働基準監督署長 越川 稔

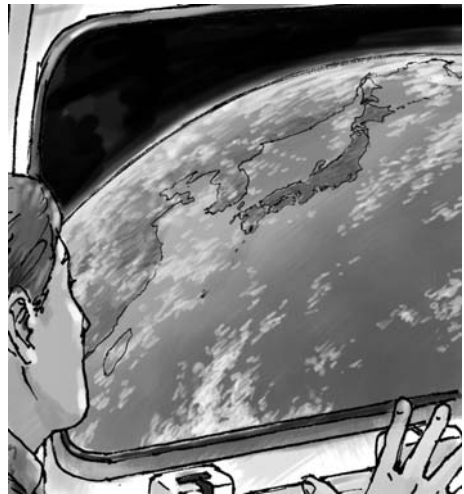
島しよの領有権をめぐる
「争い」が、今まで以上
に激しさを増している。
人が生活していない（か
つては生活していた場所

「今では棄てた場所もあ
る）島（無人島、大きな
岩礁？）だけに争いの種
になってしまふ。

沖縄県、いや日本の最
西端の島、与那国島に「国
境」という名の飲食店が
ある（今でもあると思う）。
「国境」と書いて「はて」
と読む。与那国島は野生
の与那国馬が生息（道路
を自由に闊歩している）
し、ドクターコトローの診
療所のロケ地としても有
名であるが、現在住民は
1500人を切り過疎化



が進んでいる。
かつて台湾が
日本統治下の
時期には彼の
地との交流が
盛んで、万を
超える人たち
が暮らしてい
た。民主党政
権が南西諸島
の防衛を強化
する考えを明
らかにしたた
めに、自衛隊を誘致しよ
うという意見が起こり、
賛成・反対で島が二分さ
れている。
ところで、国境地帯と
いうのは国の中心から見
れば「さいはて」かも知
れないが隣国との関係で
は交流の窓口、その最前
線である。現地の人たち
は、争うのではなく、（本
音では）仲良くしたい（平
和でありたい）と思っ
ている人が案外多いのでは
ないか。実際与那国島に
自衛隊誘致を望む人たち
の目的は防衛よりも若い
自衛隊員たちによる島の



「活性化」なのだから。
政治学には国境（とい
う概念）があるが、経営
学にはこれがない、とい
うのを何かで読んだ。そ
れは経営学が進歩的だか
らでなく、企業（＝労働）
の論理がそうだからだと
思う。多国籍企業など
言うのは言い換えれば無
国籍企業かも知れない。
宇宙飛行士のアームス
トロング氏が亡くなられ
たが、宇宙から見た地球
には「国境線」のような
ものは見えなかったはず
だ。誰かが「この土地は
俺のもの」と言い出して

から、海の上まで勝手に
「線引き」して、ここか
ら我が国のものと言っ
ている。元々誰かのもの
はなかったのだから共同
利用すればいいのでは、
という意見を讀んだが、
うむ、と唸った。紛争で
開発が進まないことより
よほどいいかもしれない。
そうしたことがお互いの
国での働く人の安全衛生
水準の向上、格差の解消
につながれば、と今夏の
中国プロジェクトとの意
見交換を終えて感じたも
のである。（中国代表は
通訳の意を借りれば「国
情の違い」と言っていた）
ヨーロッパは長い領土
争いから経済統合まで進
んできたのだから、アジ
アでもできないことはない
と思う。長い歴史の中
では友好関係の時代の方
が長いのだから。
ところで、将来国（と
地域）がなくなったらオ
リンピックは…？

イラスト・伊藤栄章